

第1号 (2016. 2.1)

# 認定子ども園・保育所民営化だより



発行：今帰仁村教育委員会・幼保連携推進室

今帰仁村では、子ども達の健やかな成長を社会ぐるみで支援していくために地域子育て新拠点事業や放課後健全育成事業、幼稚園での午後の預かり保育など、多様な保育・幼児教育ニーズに対応した取り組みを進めてまいりました。

なかでも、保育所の待機児童問題や施設の老朽化に伴う保育環境の改善については、定員の弾力化制度の活用や今帰仁保育所(平成23年4月開園)新設(定員増)により児童の受け皿確保を図ってまいりました。しかし、入所希望児童のさらなる増加などもあって、待機児童問題は完全に改善されないまま、他の幼稚園や保育園施設の老朽化問題とともに課題が残る結果となりました。

そのような中、子育て支援新制度に基づく向こう5年間の「子ども子育て支援計画」(平成27年度～平成31年度)を定めました。特に本村の喫緊の課題である幼稚園と保育園の今後のあり方については、「庁内検討委員会」や「子ども・子育て会議」で議論を重ね、平成27年3月に幼稚園(3園)と保育園(1園)を統合した村立認定子ども園(1園)と村立保育所の民設民営化(2園)の早期整備方針を決定しました。現在、「幼保連携一体化施設整備計画」(平成28年3月)の策定に向け作業を進めています。

村民の皆様には、計画の進捗状況を定期的にお知らせ、よりよい認定子ども園と保育所の開園に向け、情報提供していきます。

## 検討経緯の概要

時期	会議等	概要
平成25年4月 ～平成26年8月	今帰仁村立保育所・幼稚園の今後のあり方検討委員会 作業部会(計5回)	・施設の状況・課題 ・より良い発達支援に向けた方向性検討 ・対応策(案)の検討
平成26年11月5日	子ども・子育て会議学習会	・幼保連携型認定こども園整備についての意見交換
平成26年12月3日	第4回子ども・子育て会議	・認定こども園整備の方向性承認 ・公立保育所民営化の方向性検討
平成27年3月	「今帰仁村子ども・子育て支援事業計画」の策定	・認定こども園整備、公立保育所民営化の方向性の位置づけ
平成27年度	「今帰仁村幼保連携一体化総合整備計画」の策定(平成28年3月策定) ※子ども・子育て会議、 庁内委員会等で協議中 第1回保護者住民説明会(10/30・11/3・11/4)	・認定こども園、民設民営保育所整備の候補地選定等 <今後> ・認定こども園の施設計画 ・民設民営保育所の方針作成等

# 認定子ども園の候補地及び開園時期が変更になりました。

今帰仁村では待機児童の解消を図り、よりよい環境のもと子供の育ちを支えていくため、村内の3つの幼稚園(兼次幼稚園、今帰仁幼稚園、天底幼稚園)と中央保育所を統合した「**村立認定子ども園**」の建設を進めています。仲尾次保育所と仲宗根保育所の民設民営による新・保育所(2箇所)も準備を進めております。しかし、いずれの施設も昨年開催いたしました住民説明会(H27.10/30~11/4)の時点では平成30年4月の開園予定とお伝えしましたが、最適な保育環境整備や建設コストの抑制、補助事業の申請等の理由により、再検討の結果、認定子ども園については候補地と開園時期が下記のとおり変更となりました。

=変更項目=

認定子ども園候補地：今帰仁幼稚園跡地及び隣接地(1案)⇒**今帰仁小学校北側敷地及び隣接地(2案)**

\*下記図面参照

開園時期：平成30年4月⇒**平成31年4月**

=変更理由=

- ①現幼稚園の仮設建設が必要。
- ②傾斜地活用のため多額の造成費用が必要。
- ③近隣の農業畜産振興への影響。
- ④園舎新設のため補助事業の申請など

## 認定こども園の候補地 (変更後)

○今帰仁小学校周辺 (第2案)  
(今帰仁小北側隣接地)



今帰仁小周辺は  
第1案から第2案へ  
変更になったんだね



※候補地の形状・面積は現段階のものであり、今後変更の可能性がります。

### 面積：約5,300㎡

<主な選定理由>

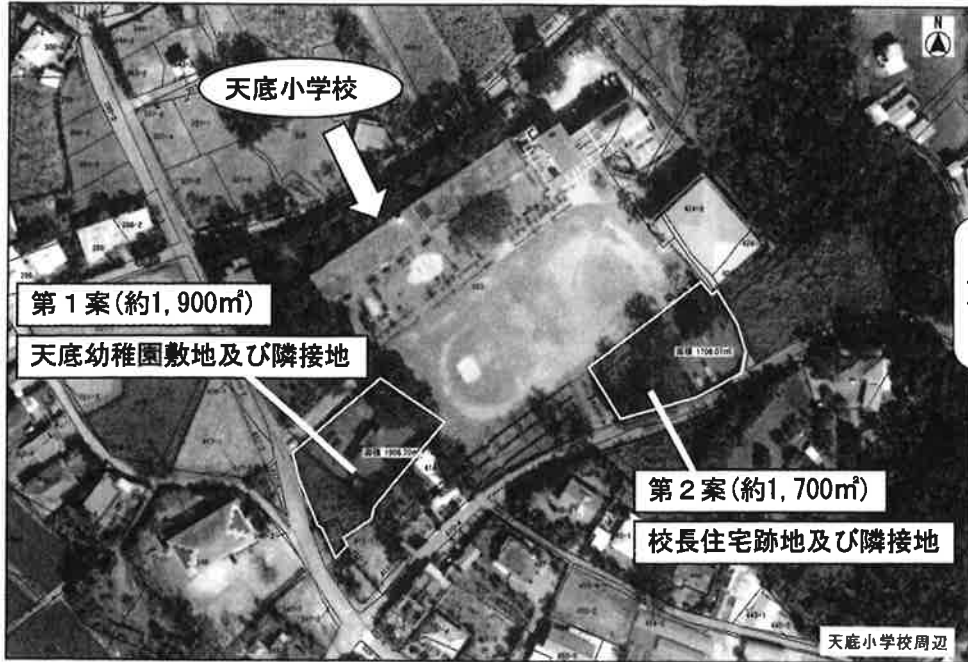
- ・ゆとりある面積を確保可能。
- ・小学校校舎と適度な距離がありお互いの活動内容・時間等の面で影響が少ない。
- ・一部小学校グラウンドが隣接している且つ、現幼稚園施設を活用しながら新築整備が可能。
- ・村域のほぼ中央に位置し、利便性に優れてる。

### =今後の計画スケジュール=

- |        |              |
|--------|--------------|
| 平成27年度 | 住民説明会・事業計画策定 |
| 平成28年度 | 実施設計         |
| 平成29年度 | 造成工事         |
| 平成30年度 | 園舎建設工事・入園準備  |
| 平成31年度 | 認定子ども園開園(4月) |

## 民設民営保育所の候補地 (①村域東側)

○天底小学校周辺 (第2案)  
(校長住宅跡地及び隣接地)



天底小周辺は  
第2案で進めて行くことに  
決まったんですね



※候補地の形状・面積は現段階のものであり、今後変更の可能性があります。

**面積：約1,700㎡**

<主な選定理由>

- ・敷地面積は現状の今婦仁保育所より狭いが、隣接地の確保で敷地拡大の可能性あり。
- ・現幼稚園を存続しながら新築整備ができる。
- ・接する道路は比較的交通量が少なく、安全性は良好。
- ・小学校校舎と適度な距離がありお互い活動内容・時間等の面で影響が少ない。

**=今後の計画スケジュール=**

- 平成27年度 住民説明会・民営化方針決定
- 平成28年度 事業者公募、審査、決定、実施設計・造成工事
- 平成29年度 園舎建設工事・入園準備・引継ぎ保育
- 平成30年度 民間保育園(4月)

## 民設民営保育所の候補地 (②村域西側)

○兼次小学校周辺 (第1案及び第2案)  
兼次幼稚園及び隣接地又は旧兼次中学校跡地



兼次小周辺は  
どちらかの候補地から  
事業者が選ぶんですね



※候補地は事業者が  
いずれかを選択

※ただし、第1案については  
幼稚園移設等、その他の事業  
者負担等の条件があります。

※候補地の形状・面積は現段階のものであり、今後変更の可能性があります。

**面積：約2,400㎡**

<主な選定理由>

- ・敷地面積は現状の今婦仁保育所と同程度。
- ・小学校校舎と適度な距離がありお互いの活動内容・時間等の面で影響が少ない。
- ・旧兼次中学校跡地は高齢者施設等に隣接しており、世代間交流が期待できる。
- ・兼次幼稚園側は自然が豊か。
- ・旧兼次中学校跡地はグランド敷地のため大規模造成を要しない

**=今後の計画スケジュール=**

- 平成27年度 住民説明会・民営化方針決定
- 平成28年度 事業者公募、審査、決定、実施設計・造成工事
- 平成29年度 園舎建設工事・入園準備・引継ぎ保育
- 平成30年度 民間保育園(4月)

# 自然とふれあい 笑顔はじける！

## 今帰仁っ子の“育ち”と“学び”を支える「子どもの城」=認定子ども園整備理念

### 幼保連携一体化施設整備に向けた取り組みの様子



住民説明会(コミセン会場)



保育士ワークショップ



認定子ども園学習会

新制度と認定子ども園について  
～子供たちにとって楽しい幼保一体化・認定子ども園を～  
講師：柏女 貴雄 氏  
（国文学研究館教授、内閣府子ども子育て政策委員）



子ども子育て会議



### ～第2回 保護者・住民説明会のお知らせ～

下記の日程で認定子ども園の計画や民設民営化の方針及び、事業所の公募条件、今後のスケジュール等について説明します。

なお、説明会は幼稚園、保育所の在園児の保護者をはじめ、地域の方も自由に参加することができます。また、都合がつかない場合は他地区での説明会への参加も可能です。

(村全体及び今帰仁小学校地区)

と き：平成28年3月17日(木)午後7時～ ところ：今帰仁村コミセンホール

(兼次小学校地区)

と き：平成28年3月18日(金)午後7時～ ところ：仲尾次保育所

(天底小学校地区)

と き：平成28年3月19日(土)午前10時～ ところ：今帰仁保育所(子育て支援センター)

お問い合わせ：今帰仁村教育委員会 幼保連携推進室 (TEL56-2645)

\* 次号では第1回住民説明会の内容やアンケート等のほか、民営化の方針や今後のスケジュール等についてお知らせします。